

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の『記憶遺産』に慰安婦関連資料が出された場合、日本国政府は断固ユネスコ脱退すべきです。



日本は2年前に中国に「南京大虐殺文書」を登録されてしまった。しっかりと調査し、証拠を添えて提出しなければ国連教育科学文化機関(ユネスコ)が受付登録などしないと思っていたら、そうではなかった。日本の外務省や文部科学省が資料をつけて訂正の異議申し立てをしても政治化したユネスコは「南京大虐殺文書」を未公開のまま撤回しようとはしない。

公開すれば、日本も世界もこんなに中国はデタラメのでっち上げを登録させていると批判もできるが未公開では反論もできない。

ユネスコ側は「異なる文明、文化、国民の間の対話をもたらす条件を創り出すために活動する」というが、現実にはいたずらに対立を作り出しているだけだ。

「やくざの言いがかり」のような記憶遺産登録なら有害極まりない。

日本を貶める特定の国々の言うことだけを採用するユネスコなら何も日本が付き合う必要がない。トランプ大統領が2017年10月12日に世界遺産登録を巡ってユネスコの政治化を非難、脱退表明をしたばかり。

ユネスコ予算最大の拠出国アメリカは分担率22%、継いで第2の拠出国はわが日本の分担率10%である。もし、従軍慰安婦関連資料を登録するようなことがあれば、日本は即座にユネスコを脱退し、ユネスコの抜本的改革を要求すべきだ。

なお、日本が「南京大虐殺文書」の件でユネスコを脱退しなかったのはアメリカ⇒日本⇒中国の順だったのが中国の影響力拡大を懸念したからだが、さすがに今回は脱退しかない。

そのうち、バブル崩壊している中国もお金が無くなるはずだから・・・。